

## 評価基準に基づく評価項目別の総合値

評価項目	配点	参加者別評価値			
		株式会社読売アルスR 広島支社	株式会社中国放送	株式会社アドプレックス	株式会社中国四国博報堂
<b>1 業務の理解度</b>					
本業務の目的を十分に理解した上で、目的に沿った内容が提案されているか。	100	60	64	72	76
<b>2 PR実施内容に係る項目</b>					
ターゲティング案が事業のターゲットに合致しているか。	100	64	60	64	72
ワークショップの実施内容や手法等が具体的に示されており、さらにWeb広告を活用した広報等で活用するための工夫がされているなど、趣旨を実現する上で適当か。	75	42	48	54	60
広報のクリエイティブ案等は事業目的を達成するための目論見を持ち、次の行動を促す工夫がされているか。	100	60	60	76	80
実施期間及び広告シミュレーション（媒体、予算配分、クリック数、クリック率、クリック単価、CV数、CV率、CV単価）等が具体的に示されており、趣旨を実現する上で適当か。	75	48	48	45	51
事業者独自の創意工夫による提案が行われているか。	75	42	48	54	60
<b>3 実施体制</b>					
責任者、役割分担等が具体的に示され、県の依頼に応じて即時の協議ができる体制となっているか。	50	28	30	28	32
本業務を確実に実施できるスケジュールとなっているか。	50	30	28	34	30
<b>4 業務の実施体制</b>					
実施体制が本業務を確実に実施できるものとなっているか。	50	32	24	34	42
<b>5 経費内訳</b>					
経費の内訳が明確であり、妥当性があるか。	50	32	34	32	32
複数事業者の提案がある場合、金額に優位性があるか。	25	17	16	16	16
<b>総合値（委員全員の評価値の合計）</b>	750	455	460	509	551